



# スタンプインク

すたんぷいんく

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
数字



水性系（染料タイプ・顔料タイプ）



油性系（染料タイプ・顔料タイプ）

## 概要

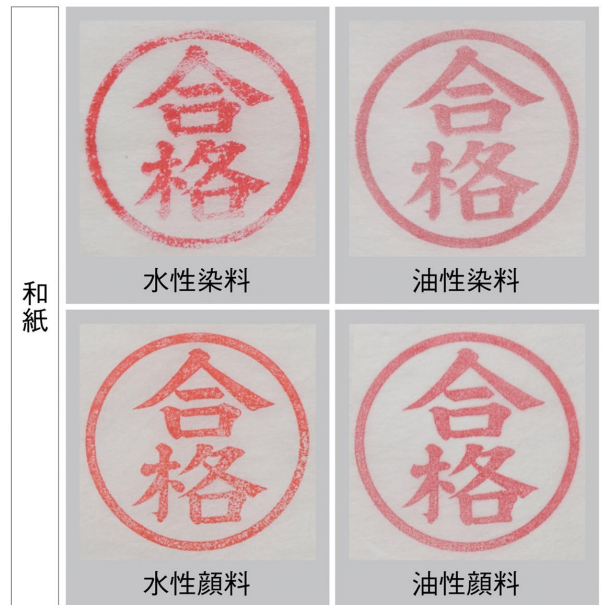
スタンプインクは、ゴム印やハンコなどに用いられるインクです。通常、スタンプ台と呼ばれる、インクを充填しておく専用容器で保管されます。スタンプ台にはインクを染み込ませるための平板な布（パッド）が敷かれ、乾燥や汚れを防ぐためのフタがついています。使用時はフタを開き、ゴム印などの版面をパッドに押し当てインクを付着させます。

スタンプインクは、一般の筆記用インクに比べグリセリンやグリコールなどの成分を含んでおり、粘度が高いことが特長です。これは、使用するゴム印やスタンプの版面全体に、インクを均一に付着させるためです。一般的な使用感は、展色剤が「水性」のものは、印影がきれいに出やすい反面、乾燥にやや時間を要し、水溶性のため水がかかるとインクが流れてしまいます。「油性」のものは、インクの乾きが早く、耐久性はありますが、印影がにじむことがあります。また色材の種類には、染料系のものと顔料系のものがあります。染料系のものは発色がとても鮮やかですが、耐光性がやや劣ります。顔料系のものは、染料系よりも発色は鈍くなりますが、耐光性に優れているといえます。

スタンプインクやスタンプ台は、各社から様々な製品が発売されています。各製品の特長は、「発色がよい」「耐光性や耐水性に優れている」「速乾性」「遅乾性」「光沢紙にも押印できる」「ブラックライトをあてると発光する」など様々で、紙類の他に、プラスチック・金属・ガラス・木材などにも押印できるインクもあります。目的や用途に合わせて選ぶと良いでしょう。

インク補充の際は、それぞれのスタンプ台の専用補充インクを使用してください。異なったインクを使用すると、著しく性質が劣化することがあるので注意が必要です。文房具店や、事務用品店などで購入することができます。

スタンプインクの印影例（紙の種類別）



スタンプインクの耐水性・耐光性（画用紙）

